

”九州地域活性化シンポジウム in 長崎 開催！”
～福岡、宮崎と続くリレーシンポジウム～



平成27年7月15日（水）、長崎市ブリックホールにて、西九州地域内の関係者が連携して日本の経済成長に貢献していくことを目指した「九州地域活性化シンポジウム in 長崎」が開催されました。当日は、400人余りの聴衆をお迎えして、地域活性化について熱心なディスカッションが行われました。

中村長崎県知事及び、金尾九州地方整備局長の主催者挨拶で開幕し、麻生（一社）九州経済連合会会長（ビデオメッセージ）、宮脇長崎経済同友会代表幹事及び、小平九州地方整備局企画部長の3者による基調講演と続きました。

休憩の後、田代九州経済調査会常務理事・調査部長がコーディネーターとなり、パネリスト6名（村木長崎旅客船協会会長、池田佐世保地域経済活性化推進協議会議長、藤本長崎商工会議所青年部会長、山口長崎大学経済学部准教授、里見長崎県副知事、小平九州地方整備局企画部長）により、地域活性化へ向けての現状認識、将来の展望について議論が行われました。

インフラ投資への費用対効果の考察の必要性、ハード、ソフト両面相俟ってこそその効果発現、離島航路の維持を高速道、国道並のインフラ整備として捉えた補助制度の拡充等々の意見が交わされました。